

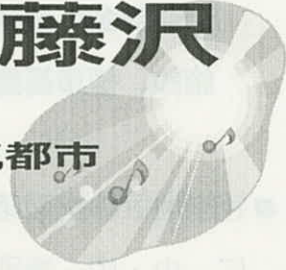


# 郷土愛あふれる藤沢



松風に人の和うるわし湘南の元気都市

～平成 26 年 2 月 当初予算等の概要～



- ★ 本市では、これまでの総合計画の仕組み自体を転換し、市民ニーズに基づいた課題に柔軟に対応し、継続できる仕組み、そして本市の新たな政策体系として「藤沢市市政運営の総合指針 2016」が4月にいよいよスタートします！
- ★ 市政運営の総合指針 2016 は、「松風に人の和うるわし湘南の元気都市」を都市像とし、「安全・安心」「産業・経済」「歴史・文化」「子ども・子育て」「健康・生きがい」を喫緊の重点項目として位置づけています！

## 【当初予算規模】

※ **総合的な指針 2016 の重点項目に基づき、市民ニーズを1つ1つ丁寧に積み上げた過去最大の積極型予算！**

※ **一般会計当初予算の伸び率 108.6%は、過去 10 年で最大！**

一般会計	1, 312億8, 700万円	対前年比	108.6%
特別会計	1, 208億2, 631万8千円	対前年比	107.6%
合計	2, 521億1, 331万8千円	対前年比	108.1%

・ 法人市民税は、約 28 億円の増！

・ 個人市民税は、約 9 億円の増！

・ 固定資産税は、約 5 億 6 千万円の増！ など

・ 歳入の根幹をなす市税は約 4.4 億円の増！

・ 対前年比、106%！

## みんなの命と財産を守る災害などへの備えを進めよう！

※地震、津波災害や地震、津波災害や風水害への対策の強化をはじめとして、市民の日常生活における火災、急病、犯罪、交通事故等に対応する消防・救急、防犯、交通安全に積極的に取り組むとともに、市民生活の安全・安心の基礎となる公共施設、都市基盤の整備を進めます。

- 辻堂地区の堂面第2公園、遊行寺坂上交番隣接地への防災機能の強化を図るとともに、小・中・特別支援学校に児童生徒の留め置き時に活用できる飲料水の備蓄を行い、防災備蓄資機材の更新を推進 **85,036 千円**
- 津波浸水予測区域内の一時避難場所を増強するため、湘洋中学校に外階段等を設置 **2,938 千円**
- 遠藤地区の将来的な都市化と高齢化の進展を見据え、消防・救急力の強化を図るため北消防署遠藤出張所の新設に向けた地質・測量調査を実施 **10,340 千円**
- 藤沢公民館と藤沢市労働会館については、機能を集約した複合施設として、現在の労働会館敷地における再整備に向け、基本構想を策定 **20,000 千円**
- 防犯灯を3年間で完全LED化 **213,813 千円**
- ふじさわサイクルプランに基づき藤沢駅北口、長後駅西口に自転車等駐車を整備 **472,408 千円**
- 藤沢本町駅西側に接する市道藤沢652号線整備に向けた設計等を実施 **26,613 千円**





## みんなのまちが元気になる魅力と活力を生み出そう！

※人口減少時代にあっても、藤沢市が都市として様々な機能とサービス水準を維持しながら、今後とも都市の存在感を高め、成長拡大を続けることを目指してまいります。新たな都市基盤整備、地域経済の活性化、シティプロモーション、市民協働の推進などに取り組み、市民一人ひとりと都市そのものを元気にします。

- 喫緊の最重要課題の1つである、藤沢駅周辺地区の再整備については、先行プロジェクトとして藤沢駅北口デッキの全面改修、エスカレーターの設置に向けた構造調査、設計等を実施 **71,245 千円**
- 市庁舎整備と合わせ、市民の利便性を高める動線として、新館前の歩道の拡幅及び歩道橋の架け替えに向けた実施設計などを実施 **(233,000 千円※市庁舎含)**
- 健康と文化の森と新産業の森をつなぐ（仮称）遠藤葛原線の整備を推進 **239,111 千円**
- 昨年、好評をいただいた住宅リフォーム助成事業については、対象件数を拡充 **20,639 千円**
- 「ふじさわ元気バザール」による地元農業の活性化に取り組み、地産地消を更に推進 **5,900 千円**
- 北部地域の観光振興を図るため、首都圏初とはる都市近郊型のスポーツサイクルイベント「サイクルチャレンジカップ藤沢」を11月に開催 **5,000 千円**
- 地域課題の解決や市民ニーズへの対応を効果的に行うため、新たな事業提案制度をスタート **5,080 千円**



## みんなが誇りと愛着の持てる地域をつくろう！

※藤沢への郷土愛を高め、歴史・文化を大切にしながら、地域活動を支える仕組みづくりに取り組むとともに、本市の貴重な財産である自然環境を大切に維持・保全し、次世代に継承するよう取り組みを進め、市民が「誇り」と愛着の持てる地域と藤沢を創出します。

- 藤沢宿の歴史と文化の魅力を向上させ、次代に繋がる愛着と賑わいを創造するため、遊行寺橋の改修、(仮称)藤沢宿場館(交流館)の新設、藤沢駅や藤沢本町駅からの案内誘導サインの設置などのハード整備事業を一体的に実施するとともに、東海道シンポジウムの開催支援、街なみ百年条例に基づく、街なみ継承地区指定に向けたソフト事業も実施 **69,009 千円**
- 本市の貴重な文化的財産である浮世絵の身近な公開の場として、(仮称)藤澤浮世絵館と、若手芸術家の活動支援などの機能を持ち、新たな文化の発信拠点となる(仮称)アーツスペース湘南を辻堂駅北口に整備 **45,505 千円**
- 地域の絆や助け合いのコミュニティを醸成し、高めていくための身近な「地域の縁側」として、交流スペースの整備を推進 **6,184 千円**
- さらなる環境保全に向け、これまでの水田保全奨励事業を神奈川県が認定する「エコファーマー」と連動した奨励費制度に改善、継続して水田保全を促進 **10,000 千円**
- 太陽光発電システムと家庭用燃料電池システムの普及促進を加速させるため、両システムの同時設置に対する上乗せ補助制度を創設 **43,231 千円**



## みんなの絆で藤沢っ子の明日を築こう！

※子どもたちを取り巻く環境が大きく変化するなか、人間関係の希薄化がもたらす一人ひとりの子どもへの影響を捉えながら、市民や関係団体と行政が連携・協力して、子ども・子育て、教育の取り組みを進め、子どもたちの健やかな成長を実感できるまちを目指します。

- 多様な保育サービスを総合的に案内する保育コンシェルジュを新たに配置  
57,654 千円（システム分含）
- 待機児童解消については、「藤沢市緊急保育対策2カ年計画」に基づき、平成27年度までに約820人の定員拡大を図るため、鵠沼・藤沢・明治・湘南台地区に認可保育所を整備するとともに、藤沢型認定保育施設の拡充を推進 761,044 千円
- 定員の増加と良好な保育環境の充実を図るため、しづやがはら保育園の移転整備を実施 25,170 千円
- 中学校給食については、11月からデリバリー方式による給食の試行を善行・湘南台中学校の2校で実施 61,890 千円
- 校務の効率化と情報セキュリティの確保を図るため、すべての中学校、特別支援学校で校務支援システムの運用を開始 68,113 千円
- いじめ問題対策連絡協議会、いじめ問題再調査委員会を新たに設置、さらに、(仮称)藤沢市いじめ防止条例の制定に向けた検討を推進 14,854 千円





## みんなの希望と笑顔があふれる健やかな暮らしを支えよう！

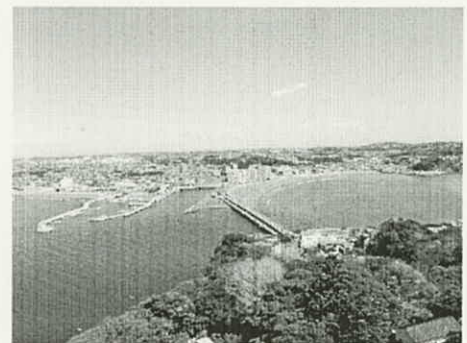
※健康寿命の延伸に向け、福祉、保健、医療、介護の充実を図るとともに、市民一人ひとりの生きがいづくりに繋がる生涯学習、生涯スポーツの推進や暮らしやすさの向上を図る移動円滑化等に取り組み、市民の笑顔があふれ、生活の豊かさが実感できるまちを目指します。

- 市民の健康づくり、がん予防の観点から、胃がん等の発症リスクを検査する「胃がんリスク検診」を新たに実施 **41,613 千円**
- 高齢者、障がい者などの就労機会を提供し、社会参加を促進する生きがい福祉センターの改築を実施 **178,413 千円**
- 「いつでも、どこでも、だれでも、いつまでも」スポーツを楽しめる環境の充実に向け、(仮称)天神スポーツ広場の少年野球場等の整備や葛原スポーツ広場野球場の2面化に向けた基本設計を実施 **15,088 千円**
- 辻堂のロボケアセンターで行われる体力向上と身体機能維持のための自立動作支援装具、ロボットスーツを着用した障がい者への訓練に要する費用の一部助成を県内初、全国でも2番目に実施 **10,500 千円**
- 特別養護老人ホームの入所待機者の解消と高齢者施設の充実を図るため、辻堂地区での特別養護老人ホーム、鵜沼地区での介護老人保健施設の整備に対する助成を実施 **493,000 千円**
- 地域での新たな公共交通の導入検討として、一般道路において、通常のバス路線よりも定時性や速達性を高めるバス輸送システム、いわゆるBRTの導入検討を開始 **20,715 千円**

### (その他の特徴的な事業)

- 制定50周年を迎える「藤沢市市民憲章」については、憲章に込められた思いを改めて市民の皆さんと共有し、藤沢市が持つ素晴らしい文化や人の和をしっかりと未来に繋ぐ様々な事業を展開 **7,912 千円**
- 小学校2校、中学校4校において、非構造部材耐震改修工事を実施、また、本年9月に滝の沢小学校、駒寄小学校に給食調理室を開設することで、すべての小学校、特別支援学校において、単独調理方式による給食の提供を実現 **762,211 千円**
- 廃棄物の発生抑制や減量、資源化に対する市民の意識向上を図り、循環型社会を実現するための施設として、リサイクルプラザ藤沢の啓発棟の供用を開始、環境啓発や環境教育を実施 **10,230 千円**
- 引地川親水公園のドッグラン広場や多目的広場の利用者の利便性の向上を図るため、新たにトイレを設置 **9,648 千円**
- 2つの総合特区制度の区域である本市では、「さがみロボット産業特区」においては、先に述べましたロボットスーツの取り組みとともに、「PALRO (パルロ)」の機能を活用した生活支援、介護予防の取り組みを、「京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区」においては、健康と文化の森に関わる取り組みを支援

少子・超高齢社会にしっかりと対応し、市民の皆様がこの藤沢市で元気に暮らし続けることができるよう、平成26年度における「郷土愛あふれる藤沢づくり」のテーマを「魅力」「活力」「創造力」が「あふれる」として市政を進め、市民一人ひとりが藤沢市を郷土として心から愛し、先人たちが積み上げてきた歴史や伝統を誇りに思える「松風に人の和うるわし 湘南の元気都市」を築き上げてまいります。



#### 【問い合わせ先】

財政課 松崎 内線 2301 ・ 秘書課 井出 内線 2110 ・ 広報課 板垣 内線 2120